

京機会ニュース

No.42

2021 March



京機会事務局
〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 b棟4階(b4S13)
TELFAX:075-383-3713 E-mail:jimukyoku@keikikai.jp
URL:https://keikikai.jp/



大正13(1924年)の本館(理工科大学機械工学科・土木工学科の校舎)前の風景



旧時計台前(1998年)

京都大学いまむかし
京機会も次世代へむけて

～時計台の風景～



桂キャンパス時計台(2020年)

京機会ニュース 臨時特別号 (No.42) 発刊について

京機会では、この度、「京都大学総務部渉外課基金」からのご依頼により、同封の「Kyoto University Now 第4号 by 京都大学基金室」を、京機会会員各位におけて、発送協力する運びになりました。

今回の発送に伴い、この機会に京機会としても「京機会ニュース臨時特別号」をご用意させていただきました。

2020年は年明けから新型コロナウイルスが猛威を振るい、春以降は本部(大学)活動や支部活動のすべてが休止となり、残念な1年となりました。一方、この1年間でテレワークやリモート会議の促進等で働き方が変わり、「新しい日常」が始まりました。京機会においても、2020年秋以降、行事のオンライン開催等にて新たな企画・運営を進めています。

●本号では、2020年秋～2021年春にかけての本部&各支部活動の最新状況をコンパクトに紹介しています。

また、今春以降の新企画や活動スタイルも関係者一同で鋭意検討中です。行事へのご参加をお待ちしています。

会長挨拶



新型コロナウイルスの終息が見えない中、世界の情勢が大きく変化しつつあります。米中対立の激化、米国の大統領選にみる民主主義の危機、バイデン大統領の選出、イギリスのEUからの脱退、日韓対立の激化など、政治の異変が起きています。これらが、経済面での悪影響をきたす様相です。また、2030年に向けてのSDGsの達成や、地球環境問題では、2050年、カーボンニュートラルの実現に向けて、号砲がなりました。今後、産業構造が変わり、技術革新が起き、機械工学が活躍できる分野も大きく変化するでしょう。

さらに、コロナ禍は、働き方にも、リモートの活用など、変革を余儀なくされ、ポストコロナのニューノーマル時代に入っていくでしょう。このような変化の中、京機会の取り組みも、これまで通りではなく、もう一度原点に返って、上記の社会変化に対応したものにすべきではないかと思えます。

京機会は、1997年6月「京都大学機械系工学教室百年記念式典」が行われ、それを機に新規則を制定して、「京機会は、その母体となる専攻と関連する研究の発展を図り、更に、会員相互の親睦を図ることをもって、目的とする」として、再発足しました。今、この目的に沿って行われているかを考えると、不十分な面や課題、そして、将来発生しそうな課題も見えてきて、それらを解決していく必要性を感じています。

私は、この発足当時の目的と照らし合わせ、現在、将来の課題を顕在化、見える化し、社会変化に対応した、京機会の更なる発展に貢献できたらと思っています。そのためには、会員の皆様、現役の先生方の協力がなければなりません。皆様方の、絶大なご支援、ご協力をお願いいたします。

野村 剛 (1976)



支部だより

関西支部からのお知らせ

< 仲田 摩智支部長 (1979) からのご挨拶 >



新春の総会で野村前関西支部長(現会長)の後任として関西支部長に選任いただきました。関西支部も御多分にもれず昨年はコロナ禍であまり活発な活動ができませんでしたが、1月にはリモートで総会・新年会が開催でき、海外駐在のメンバーからも数名参加いただける等新しい取組に新たな可能性が見えてきました。今年も当分対面の活動は難しいと想定されますが、Afterコロナとして、リモートも含めた新たに活性化された関西支部活動を模索してまいります。年齢層を超えた共感呼ぶ活動にすべく皆様のご協力をお願いいたします。

~ ZOOM 京機 六郎 (関西支部) からのお知らせと報告 ~

<<Zoom紹介>>

関西支部では2020年9月の幹事会・運営委員会から、Zoomの利用をスタートし、コロナ禍で中止をやむなくしていた各種活動も徐々に再開することができました。京機会本部から支給された関西支部のZoomアカウントは「京機六郎」です。有料プランのため時間制限はなく、参加者数も300名まで接続でき(無料プランは40分100名まで)、自宅や大学・会社など、どこからでもコミュニケーションがとれるようになりました。

関西支部では、コロナ禍でもできるやり方で様々な活動を推進し、各種活動の定着と各年代層の活動活性化を図っていきます。以下に関西支部で実施したZoomを使った活動内容と、Zoomの機能を使いこなすための準備について紹介いたします。なお、各種行事の様子は、今秋発行の京機会ニュースNo.43にて詳しく紹介いたします。

Zoomを使った活動紹介

◎詳細は、京機会ニュースNo.43でご紹介します。

■ 若手会

○ 新人歓迎会 : 2020年12月12日(土)

場所: WEB会議ツール「Zoom」バーチャル会議方式
参加者: 31名



参加者の記念写真(スクショ=Screen Shotの略)

重要Point!

<Zoomの資料共有>

Web会議では資料配付は不要です。河野先生から、パソコンの画面共有で、参加しているメンバー全員に資料を共有しながら説明いただきました。



(参考: 河野先生の共有資料) #

■ 2021年度支部総会・新年会

日時: 2021年1月16日(土)

場所: WEB会議ツール「Zoom」バーチャル会議方式
参加人数: 講演会 92名、総会 72名、新年会 71名
参加費: 無料

○ 講演会 演者: 平山朋子先生(機械理工学専攻)



○ 総会

○ 新年会

講演会・総会に引き続き、恒例の関西支部新年会も新たな試みとしてオンラインにて開催しました。前半は卒業年次別のバーチャル会議ルームに分かれ、少人数で近況報告、新しい形で行われた講演会・総会について歓談されました。

恒例の福引大会ではメールでお渡しできるAmazonギフト券、クボタオリジナル純米吟醸酒、Sony製ワイヤレスヘッドホンなど趣向を凝らした景品が準備され、当選者が決まる度にカメラの前で笑顔が広がり、盛り上がりました。後半は研究室別に分かれ、先生を囲んだ懐かしい雰囲気での話の輪が広がっていました。



最後は、「琵琶湖周航の歌」をバックに、正に一同に会したかのような雰囲気を惜しみながら、新年会を盛会裡に閉会いたしました。オンラインでの講演会・総会・新年会には関西支部だけでなく、関東支部・中部支部・九州支部や遠くは海外からも申し込みがあり、参加いただきました。まさにコロナ禍のピンチをチャンスに変える新しい形の京機会活動になりました。

終了後のアンケートからいただいたコメントを紹介します。

- ・通常は参加できないイベントに参加できて良かった。
- ・思ったより、違和感なく参加できました。
- ・講演会はリアルより声聞き取りやすかった。
- ・講演いただいた研究の今後の進展に期待しています。将来の講演も希望します。
- ・新年会のグループ分けのアイデアは良かった。
- ・来年はリアルで出来る世情になっていることを願います。

また、いくつかの課題もありました。

- ・Zoomの最新ソフトを入れていなくて、ブレイクアウトルームへ自分で移動できなかった。
- ・後半は研究室の部屋だけでなく、講演会の部屋やKARTの部屋があれば良かった。

以上のような参加者の皆様からのフィードバックを活かし、今後も改善していきます。Zoomを使ったことがない方も、今年度の関西支部活動にお気軽に参加ください。よろしくお願いいたします。

重要Point! <Zoomのアップデート>

Zoomだけでなくビデオ会議ソフトは新しい技術が使用され、日々更新されています。今回新年会でいくつかの部屋に分かれた際に、「自分で移動できない」現象がありました。Zoom会議に参加する前には必ずアップデートを行ってください。また、事前にマイクやスピーカーなどのオーディオ機能、カメラのテストを実施しておくことでスムーズに会議に入ることができます。



【令和3年度行事予定のお知らせ】

■ 同窓会企画

○ 第1回:

対象: 2000年、2001年、2010年、2011年卒

卒業年次によっては同窓会が開催されていない現状を踏まえ、京機会の基本に立ち返り、同窓会の活性化に向けて、関西支部主導の同窓会企画の仕組み化について取り組みを始めました。昨年度は中止になったため、4学年合同での開催に向けて、引き続き企画してまいります。積極的な参画とご協力をお願いいたします。

■ 関西支部活性化企画

コロナ禍でも活動でき、次世代を担うメンバーの京機会活動への巻き込みの施策として、支部の補助を活用し、各企業内で若手を含めた企画を推進します。

◎ 資金補助の仕組み

- ・対象: 各企業内での懇親イベント
- ・補助対象者: 新入社員~入社10年目までの京機会会員
- ・金額: 3,000円/人
- ・上限設定: 1人の若手に対して1回限り/年
- ・支部予算(30万円)に達した時点で打ち切り
- ・申請方法: 実施日、参加者氏名(卒業年)、記録写真を関西支部事務局に提出する。
- ・その他: アウトドア活動やリモート開催を推奨。関西支部のZoomライセンス使用可。重複時は本部のライセンス使用を事務局で調整します。



< 山本 謙支部長 (1975) からのご挨拶 >



当支部は関東地方に山梨県を加えた1都7県に在住、或いはこれに所存する勤務先に所属する京機会会員で構成されています。いろいろな業種の企業や行政を含めた多くの機関・団体が首都圏に集まっており、幅広いジャンルの会員の方々がいらっしゃいます。

当支部は今年で創設20年目を迎えます。現在はCOVID-19により支部活動も思うに任せませんが、これまでの先輩方の成果を生かしながら、これからの活動を続けてまいります。

～ 「ニューノーマルスタイル・ゴルフ会」のご紹介 ～

◎ 日時:2020年10月18日(日) ◎ 場所:万木城カントリークラブ(千葉県) ◎ 参加者:10名

春が延期となった為、約一年ぶりの開催。10人で久しぶりに集い、ソーシャルディスタンスのもとゴルフを堪能すると共に互いの無事を確認できました。懇親会は、広めの会場を用意して席の間隔を取り、個別に取分けられたオードブル&缶ビールという「ニューノーマル」のスタイルにて実施。新型コロナ禍でのゴルフ同好会開催の試行として、今回は参加者の募集をせず少人数で開催しました。3密対策が取れることが確認できましたので、2021年「春のゴルフ会」から公式に参加者募集を行います。



2021年度 京機会関東支部総会 オンライン開催のお知らせ

2021年度の関東支部総会はコロナ対策のため、オンラインにて総会を開催いたします。

途中参加・退席も可能です。多くのご参加をお待ちしております。

関東支部の会員の方をはじめ、他支部会員のご参加も歓迎いたします。

I) 日 時:2021年4月10日(土) 10:00~12:00(終了予定)

II) 開催方法:WEB会議ツール「Zoom」バーチャル会議方式(生中継)

III) 内 容

1. 講演会 10:00~11:00

『水素エネルギー:基礎から最近の話題まで』

(講演45分、質疑応答5分 計50分)

講師:吉田 英生教授(京都大学工学研究科 航空宇宙工学専攻)



2. 総 会 11:00~12:00

- 1) 支部長挨拶
- 2) 2019年度、2020年度支部活動/決算報告
- 3) 大学状況紹介
- 4) 2021年度支部活動予定/予算説明
- 5) 支部規約改定
- 6) 新支部長挨拶

IV) 参加方法:

- ZoomにログインするためのURLや関連事項は、4月2日頃に参加申込者宛にメールでお知らせします。
- 4月10日 総会当日9:30~13:00の間でZoom会議を開設します。
総会の開始前には懇談に使用ください。総会終了後は懇談用のブレイクアウトルームを準備する予定です。
ブレイクアウトルームの詳細は、後日に京機会ホームページを更新してお伝えします。
- 本会に参加するには、パソコンかスマホおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
※ 当日までにWi-Fi環境、PCあるいはタブレットやスマートフォンをご準備ください。
※ ご参加は無料ですが、インターネット接続に関する料金は参加者の負担となります。
- 下記マニュアルにてZoomインストールおよび操作方法をご紹介します。
<https://keikikai.jp/wp-content/uploads/2020/05/zoommanual.pdf>

◆ 参加費用:無料

◆ お申込み:京機会ホームページよりお申込みください。締切:2021年3月31日



＜伊勢 清貴支部長(1978)からのご挨拶＞



昨秋、久しぶりに紅葉の南禅寺訪問。コロナ禍の中ですがやはり人出も多く京都の良さを感じました。帰りに京大にも寄りました。東一条の通りがスッキリし過ぎていて(立て看板が無い!)ちょっと寂しい。時代は変わっていく事を実感しつつコロナ禍も乗り越えていかねばと思う次第。4月には支部総会と講演会をネット開催します。沢山の会員のご参加を期待します。

～ 活動テーマは「広がれ! ゲンキ、ワクワク」～

中部支部 2020年度活動状況

新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言(2020年4月)を受け、2020年度の支部総会は中止とせざるをえませんでした。緊急の代替案としてメールによる幹事会をもって総会の代替とし、支部長交代をはじめ新役員体制を承認いたしました。(役員体制は右記参照)

その後は感染拡大と収束を繰り返し先の見通しが立たない中、活動計画のほとんどを中止としました。運営面においては、メールやリモート会議ツールを活用することで人が集合しない形式での幹事活動に切り替え、ようやく馴染んできたところでもあります。

2021年度では、知恵を絞り、リモートツールを活用したリモートならではの活動を企画し、またリモートだけではなくリアル世界でも感染対策を適切に実施したうえでの活動を企画していきたいと思っております。

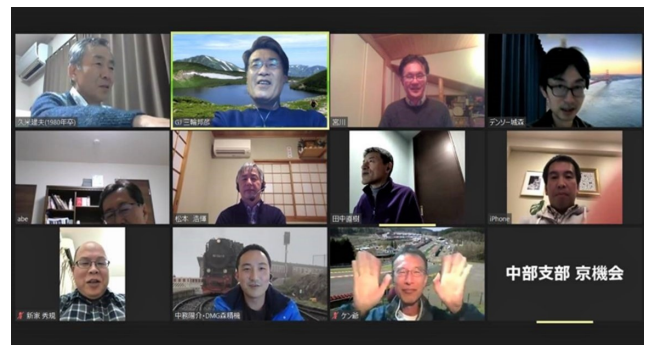
活動テーマ「広がれ! ゲンキ、ワクワク」

2019年度の活動テーマ「ココロ、動かす。」からつながるテーマとして設定いたしました。ココロが動いたなら、次は行動を起こそう! ワクワクを伝えて周りもゲンキにしよう! との想いを込めています。また、ちょうど新型コロナウイルスの最初の感染拡大と重なったこともあり、ウイルスに負けずにゲンキでいきましょう、との願いも込めています。

2020年度 新・役員体制(敬称略)

支部長	伊勢清貴(1978)
副支部長	西脇眞二(1986)、黒瀬良一(1993)
〃	森 雅彦(1985)、久米建夫(1980)
監事	三輪邦彦(1978)
事務局長	田中直樹(1995)
事務局次長	新家秀規(1993)
顧問	佐々木一衛(1977)
〃	鎌居健一郎(1978)
〃	安部静生(1982)
他、幹事18名	

中部支部初のリモート懇親会の様子(12/21開催)



【お知らせ】2021年度 支部総会、講演会

2021年度支部総会にて、下記内容の講演会を予定しております。皆様、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。参加申込等の詳細は、京機会ホームページからご確認ください。

◎ 日時:2021年4月17日(土) ◎ 場所:Zoomによるリモート開催

講演:1)「京都盆地北部でなにが起きたか?」 梅林秀行氏(京都高低差崖会 崖長)

梅林氏は「ブラタモリ」等、多数テレビ出演されております。京都大学周辺には特徴的な地形および歴史的な文化背景があります。講演では、「京都大学キャンパス」は、京都にとって、日本の歴史にとって、どのような位置を占めたのか? 吉田キャンパスに定点を置いて、京都大学周辺の地理と歴史を絡めて語っていただきます。



講演:2)「あほなことせえ」 酒井 敏 教授(京都大学人間・環境学)

酒井教授は京大の自由な校風を地で行く「最も京大らしい」京大教授です。「あほなこと」とは世間の常識から外れることであり、この中から新しい事実を発見することを目的とする。しかし近年、「あほ」が許されなくなっている源流は企業にあると説きます。この流れを変えるべく「あほ」を広めるため現役企業人にメッセージを送ります。





< 古屋博章支部長 (1982) からのご挨拶 >



この1年間は、様々な活動が制限されるなか、状況変化に応じた手探りの支部運営となりましたが、会員の皆様には多大なるご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

当支部は会員数の割に広い地域をカバーしていますが、昨秋開催したWeb交流会には他支部からもご参加いただくなど、意外とそのハンディを感じさせないものとなっています。また、今年は当支部が誕生して20周年の節目の年となります。リアル会合を再開できる日を心待ちにしながら、京機会らしい独創的な企画で皆様をお迎えし、支部の枠を超えたさらなる交流ができればと思っています。引き続き皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

～ 「支部行事」のご紹介 ～

秋季行事のご報告

当支部では、2020年11月29日(日)に毎年恒例の「秋季行事」を開催しました。今回はコロナ禍の影響でオンライン開催となりました。関西支部所属の矢辺保行さん(1982)や本部事務局の段智子さんを含む計12名にご参加いただきました。

まず、「支部運営会議」では、2020支部会計の中間報告/2021春季行事の開催要領の説明/本部における重要事案の伝達を行いました。

次に、「交流会 (Zoom懇親会)」では、加藤和雄さん(1968、京機短信No.349に「ポルシェ君」として投稿された方です)の挨拶と音頭で乾杯/各位の近況報告/各位が選定する話題についての意見交換を行いました。

今回、本部で購入されたライセンスを活用させていただいたわけですが、行事に先立って、本部提供のマニュアルを用いて各人でアプリをインストールし、さらに事前に「通信テスト」を行って本番に臨んだことで、当日は全くトラブル無く接続できスムーズな進行となりました。また、画面+音声でのやり取りに最初は少し戸惑いながらも、そこは元々コミュニケーション能力の高い会員の皆様のごこと、さらに幾ばくかのお酒の後押しもあり、すぐにリラックスした雰囲気となり、Go toキャンペーンの活用/在宅勤務の感想や苦労談/オリンピックの開催可否/おすすめグルメ等をテーマとして、関西系TV番組の「そこまで～委員会」さながらの白熱した議論で、瞬く間に2時間が過ぎました。

< 意見交換で取り上げたテーマ >

1	景気浮揚対策	Go To TravelやGo To Eatを活用している。
2	働き方改革	アフターコロナで、在宅勤務などの働き方改革が一気に加速・定着する。
3	個人情報管理	DXや感染症対策の実効性を高めるために、台湾のように国が個人情報を直接管理すべきだ。
4	日本プロ野球	広島カープは、2021年セ・リーグ優勝できる。
5	日本の復活	近年、日本の国際的なプレゼンスの低下が著しいがこれから、反転のチャンスは十分にある。
6	外交と日本経済	米国の大統領にバイデン氏が当選したことで、日本の経済は好転へと向かう。
7	東京五輪	コロナ禍はあるが、東京オリンピックは変更後の予定どおり2021年夏に開催すべきだ。
8	中国の国家像	中国共産党が目指す国の姿は、元か、明か、清か？
9	自動車業界	MAZDA CX-30の新型モデルは、売上げを大きく伸ばせる。
10	おすすめグルメ	紹介したい「地域のおすすめグルメ」がある。

締めは、支部顧問の稲本信秀さん(1977)の挨拶で、「永年のビジネスシーンでは何よりもFace To Faceでの人との触れ合いを大切にしてきた自分としては、オンライン懇親会もいいけど、やはりみなさんの顔に直接お目にかかる方が遥かにいいので、今度はなんとかリアル開催できますように！」と祈念しながらの閉会となりました。



春季行事のお知らせ

次回は、2021年5月に山口県下関市にて「春季行事」を開催することを構想しています。

リアル開催で工場見学や関門海峡・壇ノ浦の戦いの古戦場・赤間神宮などの観光を満喫していただきたいところですが、コロナ禍の急拡大でそれも簡単ではなさそうです。状況を鑑みながら調整を試みて、できるだけ多くの皆様にご参加いただけるように努めたいと考えています。追ってご案内させていただきますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。





< 千々木支部長 (1979) からのご挨拶 >



コロナ禍や地球温暖化など世界が未曾有の試練に直面している今、原点に帰り目指すべき世界の在り様を世代を超えて語らう場として京機会の集いはますます重要になっています。九州には古代から現代に至る各々の時代で先人達がものづくりで苦闘した軌跡が数多く残されています。九州支部では、そんな先人の生き様に触れつつ、九州・東アジアの魅力を堪能しながら、皆様に懇親いただける楽しいイベントを目指します。コロナ禍が落ち着き次第再開します。

～ 九州支部の活動紹介 ～

九州支部はその地域の特徴を活かし、「歴史に学び大自然に遊ぶ中、ものづくりの魅力を次世代の若者へ伝えつつ会員同士懇親出来る活動」をテーマに活動してきました。

◎過去の活動事例(順不動)

- 1.ものづくり出前講義、学生との合同見学会
長崎県立諫早高校、福岡県立小倉高校
明治学園中高等学校、長崎精道三川台小学校
福岡県立修猷館高校、福岡県立東筑高校
- 2.近代化産業遺産見学
長崎軍艦島、三井三池炭鉱、三池港
八幡製鉄所本事務所、東田高炉、河内ダム 等
萩反射炉・住友別子銅山(中国四国支部合同)
- 3.ものづくり・技術活動拠点見学
三菱重工長崎、新日鉄八幡、旭化成延岡
TOTO(小倉、中津、TOTOミュージアム)
北九州エコタウン、種子島JAXA宇宙センター
温泉バイナリー発電(小浜)、地熱発電(阿蘇)
風力発電(北九州)、原子力発電(玄海)
水力発電(延岡)、日本鋳鍛鋼、サントリー熊本
JR西日本新幹線車両基地
JTAメンテナンスセンター(沖縄)
宇部興産(中国四国支部合同)
釜山国際コンテナターミナル、釜山日韓シームレス輸送基地
三菱重工下関・安川電機ロボット工場(学生見学)
- 4.大自然堪能
阿蘇、壱岐、種子島、屋久島、雲仙、霧島、耶馬溪
秘境露天風呂(大分)
- 5.歴史遺産・文化スポット探訪
大宰府(九州国立博物館)、首里城、沖縄戦跡
長崎(ミニコンサート、出島、中華街、潜伏キリタン遺産)
関門、柳川、筑豊、中津、豊後高田、唐津、有田
萩・山口(中国四国支部合同)、高千穂夜神楽
釜山(チャガルチ市場、通度寺、慶州、仏国寺、海雲台)
熊本城・南阿蘇(震災復興状況視察)、SL山口号
- 6.九州美食体験
いか活造り(福岡)、馬刺・赤牛(熊本)、有明海珍味
はも(中津)、天然うなぎ(延岡)、ちゃんぽん(長崎)
くえ・ノドグロ寿司(下関)、黒豚・きびなご(鹿児島)
鯨(田川)、沖縄料理、泡盛、はなたれ冷凍焼酎
韓国料理(焼肉、参鶏湯等)、河豚(小倉、下関)

◎2020年度春の行事

ものづくり出前講義や小中高校生との合同工場見学会はコロナ禍で実施出来ておりません。代替活動として、オンライン講演会、リモート工場見学を計画中です。オンラインのメリットを活かした遠隔地講師の講演や関連工場のリレーリモート見学も検討中です。

◎2021年度秋の行事(2020年12月5日実施)

・オンライン支部総会
事業計画、決算予算、役員体制を審議承認しました。

★新役員体制(敬称、卒業年次略)

支部長	千々木 亨	副支部長	黒瀬良一
事務局長	山元 崇	事務局次長	泉屋 亨
会計	清水 明	監事	角倉 潔
顧問	川口東白、藤川卓爾、松久 寛、相馬和夫		

・オンライン懇親会

事前に参加者へ送付した九州特産品を肴に、横浜・京都・北九州・福岡・長崎・沖縄を結び実施しました。野村会長やSMILE学生会員の方々もご参加くださり、職種や世代を超えた様々な話題で盛り上がりました。



◎今後の活動

コロナ禍が解消し次第、リアルの行事を再開すべく計画中です。ご期待ください。

<開催地候補>

- ・台湾(いち早くコロナ禍を克服した秘密に迫る！)
- ・種子島II(H3新型ロケット登場、現場は今..?)

※日頃閉塞感に悩まされている方、今の時代に疑問を感じ新たな視点を求めている方、是非、九州支部の催しにご参加下さい。先人達や異業種の仲間の足跡をめぐり、九州の大自然と旨い料理と厚い人情に触れたら、あなたの将来への道が、そして日本の未来が見えてくるかもしれませんよ。



～ 2021年度 京機会オンライン (Zoom)総会のご報告～

2021年度京機会総会は、コロナ禍の影響をうけ、参加者の安全も踏まえ、初のオンライン (Zoom) 総会として開催しました。

- ◎ 日時:2020年11月7日(土) ◎ 発信元:桂キャンパス
- ◎ 会場:オンライン (Zoom) 総会 ◎ 出席者:157名

西脇眞二代表幹事(1986)の司会にて、塩路昌宏会長(1975)の挨拶で始まり、教室の現状報告、続いて機械系教室の専攻長・大学本部役員教員・2021年3月定年退職予定教員・昨年10月就任の第27代京大総長の紹介、新任・昇任教員の紹介がありました。



2020年度の活動報告では、コロナ禍の影響で春以降の本部の関連会議はメール会議とともにオンライン (Zoom)開催で対応していること、各支部行事もほぼすべて開催中止となってしまうこと、学生会員への各種支援も休止している等の報告がありました。ただ、このような中でも、昨年の「学生と先輩との交流会」は、懇親会を中止するなどの安全面を考慮した対策を取りながら実施し、無事開催できたとの報告もされました。

続いて、2020年度決算報告・監査報告が行われ、承認されました。次の役員改選では、野村 剛氏(1976)が

会長に推薦され承認されました。また、副会長案も承認され、引き続き新役員が報告されました。その後、野村新会長のご挨拶や2021年度活動予定の紹介を行い、2021年度の予算も承認いただきました。

支部報告では、関西・関東・中部・中国四国・九州の各支部長からそれぞれの特色を活かした活動の報告が行われました。

また、次年度の総会については、「今後の状況によるが、来年も同時期(11月頃)にハイブリット開催(リアル開催+オンライン)に適う企画にできるよう、次回にむけてこれから検討していきたい」との紹介がありました。

続く、質疑応答では、「学年同窓会等へのZoom提供支援」についての質問が挙がりました。本部としては、「現在、対応を試行錯誤しながら模索しており、安定運営が確認できた時点で会員には正式にご案内したい」との回答がなされました。

その後、予定の終了時刻となり、当初心配していた回線トラブルもなく、無事閉会となりました。

- 2021年度の総会は、初めての試みとなるオンライン開催でしたが、お忙しい中、多くの皆様にご参加いただき、盛会裡に終了することができました。ご協力ありがとうございました。
- 総会の様子は京機短信348号で紹介しております。今秋発行の京機会ニュースNo.43でも詳しく報告いたします。

～ 学生と先輩との交流会 2021のご紹介～

2021年は、従来の開催スタイルを大幅に変更し、3月1日(月)～3日(水)にオンライン交流会として開催します。

本交流会は、1999年5月21日に、京機会総会・春季大会の同時開催企画として始まりました。約20年の間に、開催時期や会場は少しずつ形を変えながら、そして運営を担ってくれる学生会SMILEメンバーの奮闘にも支えられながら、本年で22回目の開催となります。毎年、多くのご卒業生(先輩)や学生にご参加いただき、今では総会と並ぶ京機会の重要行事となりました。

2020年度は、コロナ感染が始まり開催が危うい時期ではありましたが、「ブース交流会」のみの実施で2月21日に93社2省庁のご参加により無事に終了できました。

2021年現在も長引くコロナ禍で課題は多いですが、昨秋から、教員4名とSMILEメンバーで「交流会運営チーム」を編成し、新たな開催スタイルとなる「オンライン交流会」企画に取り組みました。今回は84社2省庁にご参加いただきます。



～ 学生と先輩との交流会とは～ 本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会での仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいており、例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。

～ 京機短信 速報～

ご好評をいただいている「京機短信」(毎月5日発行)ですが、2021年4月からは、「series わたしの仕事」に続き、機械系専攻の教室紹介シリーズ「わたしたちの研究(仮題)」の連載が始まります。どうぞ楽しみに!!



～ 京機会ニュースNo.43～

No.43は、従来通り(カラー版)、2021年10月発行予定です。「会員のページ」の投稿もお待ちしております。

原稿字数は150字以内(厳守)をお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただく場合があります。お送りいただく写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承ください。 締切:2021年7月末日

担当:黒瀬 良一、横川 隆司、段 智子